

三中校長だより 保護者地域の皆さんへ  
令和4年度 第14号 R4.12.2 (金)



藤井寺市立第三中学校  
校長 奥 雅 美

### 「3年生学習会」

11月16日(水)から実施された3年生の進路懇談は卒業後どうしたいのか、そのためにどんな準備があるのかを具体的に話し合う機会になったと思います。また、この5日間、懇談の裏では、3年生の希望者に放課後学習会を実施していました。希望者はなんと80名を超え、カリカリと集中して学習に取り組んでいました。理科の復習プリントは答えを先に確認し、理解してから自分で解くという形をとっていました。忘れていた記憶がよみがえり、得意と苦手が整理されたのではないのでしょうか。

受験期に入り、何から手をつけていいかわからない場合は、薄くて短期間で終わるもので全体をおさらいし、苦手な部分だけをじっくりと取り組む方法が有効です。また、生徒自身で今の自分に合った教材を選ぶことが大事です。まずは手に取る機会を作ってほしいものです。

### 「1年生 クリスマスカード」

校舎の階段にクリスマスカードの赤いポスターが貼ってあります。よく読んでみると・・・1年生が英語の授業でフランスの中学校の生徒個人にあててクリスマスカードを送るという取り組みをしています。フランスも日本も英語は第二外国語なので、英語力によく似たものではないでしょうか。カードを送る相手を決めて、文を書き、絵を描いて色鉛筆で色をつけたり、折り紙を使い立体的にしたり、個性あふれるクリスマスカードが出来たようです。フランスの生徒の皆さんも楽しみにしてくれていることでしょう。カードは生徒作品の折り紙と一緒にフランスの学校宛てに送付しました。

### 「学び合い」

最近の「学びの定着」の研究によると、講義を受けたり、本を読んだり、画像や映像を見たりするよりも、グループで討議したり、自ら体験したり、他の人に教えたりする方が学習効果が高いということが知られています。

本校では今年度の授業改善のテーマを「学び合い」としており、教員たちはどんな授業をすれば生徒たちが主体的に学び合うようになるだろうかと日々試行錯誤しています。また、6～8人程度の教職員グループを作り、授業を見合ったり、アドバイスをし合ったりしながら授業を改善させています。他の学校にない特徴としては同じ教科や同じ学年の教員以外でのアドバイスも積極的に行われているという点です。まだまだ進化の途中ですが、そこには学び合う先生たちの姿があります。生徒の変化はきっとこれから現れてくるのではないかと期待しているところです。

### 「ビブリオエッセー 産経新聞」

産経新聞夕刊に、本を紹介する「ビブリオエッセー」というコーナーがあります。昨年度何人か掲載され、紹介しましたが、今年度も本校3年生(投稿は2年生の時)が3名、9月30日、10月3日、10月13日に掲載されました。それぞれ「クララ殺し」小林泰三、「なぜ僕らは働くのかー君が幸せになるために考えてほしい大切なこと」池上彰監修、「+1cm LIFEーたった1cmの差があなたの未来をがらりと変える」キム・ウォンジュ文 小笠原藤子訳の本を読んで、自分で考えたことや、おすすめポイントを紹介しています。その本のことを全く知らない人でも、興味がわき、気持ちをくすぐられます。本当によく書いているなあと感じました。このエッセーを読んで、本を手にとってくれる人が増えればいいと思います。中学校名は出ていないのですが「大阪府藤井寺市 氏名」で紹介されています。新聞の切り抜きは本校図書館横に掲示していますのでご覧ください。